

■ 企業データ

社 名	株式会社極東精機製作所	創業又は設立	1968年10月23日
代 表 者 名	鈴木健一	業 種	金属製品製造
役 職	代表取締役	従 業 員	11人
資 本 金	1,000万円	連 絡 先	03-3734-6461
所 在 地	〒144-0035 東京都大田区南蒲田2-19-4	加盟団体等	蒲田工業協同組合
U R L	http://www.kyokutouseiki.co.jp/	事 業 区 分	設備投資

■ 事業計画概要

主な商品のひとつである鉄道部品の日本の市場規模は現在13兆5,000億円にものぼり、毎日のように数えきれない人が利用している。日本のみならず海外でも需要が増え続ける分野である。例えば新幹線のショックアブソーバは、一般の業者では異形な品物なのでノウハウがないと高コスト納期の遅延などの問題が必ず浮上してくるが、オンリーワンの旋盤技術なら無駄が生じずに低コスト、短納期、高品質で顧客のニーズに優位性がある。

現在、マシニングセンターの老朽化によりリードタイムが長くなってしまっているため、本補助金によりマシニングセンターが導入されれば更なるリードタイムの短縮につながり他企業の追随を許さない優位性を生み出すことができる。

また、東北地方太平洋沖地震を機に日本全体で節電の意識が

高まっており、環境問題への対応は、大企業はもちろんのこと、企業数の99%を占める我々中小企業も取り組んでいくべきものである。自主的に環境問題に取り組んでいる中小企業は56.5%と半数以上の企業が実施しているので自社も参入すべく補助金を活用しECOな機械設備を検討した結果《OKUMA MB-46VBE》を導入する

搭載されるサーモフレンドリーコンセプトは、恒温室消費電力量年間約135,000kWhの節約、ブナの木に例えると約7500本分のCO₂排出の防止につながるシステムである。また、最大消費電力が33.4kVAから22kVAに大幅な低下が見込める。具体的には34.2%が節約でき、年間にして約10万8000円もの電気料金の違いが出る。

■ 事業実施

● 工程ごとのスケジュール

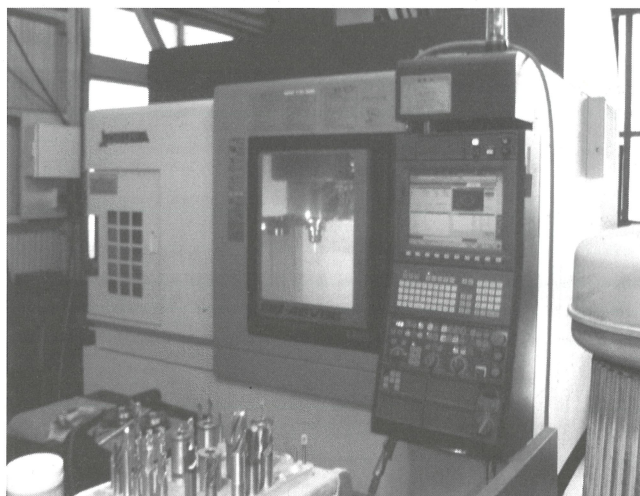
取組み内容	実施者	実施時期									
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
1. マシニングセンターの導入	(株)極東精機製作所	→									
2. リードタイムの短縮を図る	(株)極東精機製作所			→							
3. 収益性を高める	(株)極東精機製作所			→							

【1. マシニングセンターの導入】

現状のマシニングセンター精度・速度共に最新鋭の機械に比べて劣っているため、高精度・高速度な【MB46-VBE】を導入する。本補助金によりマシニングセンターが導入されれば、更なるリードタイムの短縮に繋がり、他企業の追随を許さない優位性を生み出すことができると見込んだ。

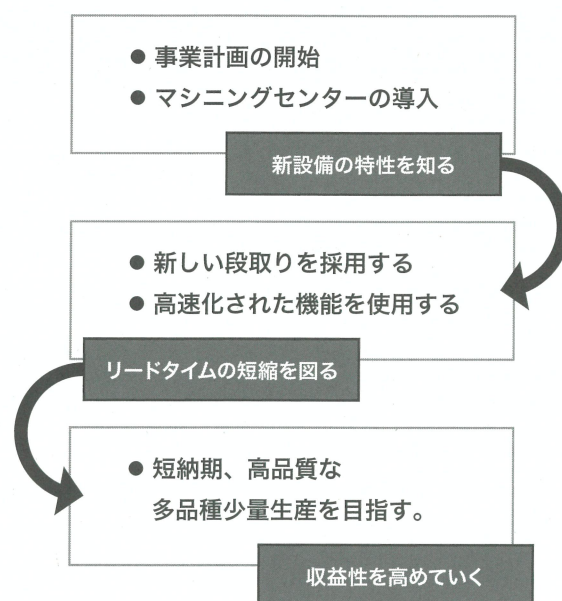
【2. リードタイムの短縮を図る】

高精度・高速度のマシニングセンターの機能を利用した新しい段取りを採用する。現状のマシニングセンターより200%向上された早送り機能の利用によりリードタイムの短縮が可能である。



【3. 収益性を高めていく】

リードタイム短縮により品物のコストが減少することにより、顧客のニーズである短納期・高精度・低コストが実現化するため新しい顧客の獲得にもつながり、近い将来の収益性が高まる効果を期待した。また、業務で関わっている市場分野は基盤産業であり、本補助金により新たな優位性を確保すれば今後衰えることのない市場の中で収益性を上げていくことが可能であると見込んだ。



■ 事業取組みの成果

高精度高速マシニングセンターの導入により、下記のような成果を得ることができた。

- ① ㈱オークマ特有の高い剛性も相まって、高精度な加工状態を保ちつつリードタイムを短縮できた。
- ② リードタイムの短縮により短納期小ロットで納品することが可能となり、顧客満足度が向上し競争力もアップした。
- ③ 主軸周りの造りが堅牢なため安定した加工が可能となり表面の輝きが増した。
- ④ 静かな機械動作により騒音が解消された。

【新しい分野に挑戦していきたい】

最先端のマシニングセンター《OKUMA MB-46VBE》を導入し、主軸周りの造りが堅牢なため安定したため表面の輝きが増した。

高精度・高速度な切削加工が可能となり、よりきれいに削れるようになったので今後はインテリアなど新しい分野に挑戦していきたいと考えている。

【CAD/CAM拡大化】

現在CAD/CAMは導入しているが、使いこなせる人間が少なく、マシニングセンターなどの機械加工で使用するプログラムはほとんどが手組で行っている。

これではプログラムを組む場合など多くの時間を要してしまうため、今後はCAD/CAMの教育をしつつ社内でのCAD/CAM拡大化に力を入れていく。

【今後現状維持】

最先端の高精度高速マシニングセンター《OKUMA MB-46VBE》の導入によって、下記のような成果を得ることができ、大いに満足している。

特にリードタイムは大幅に短縮できたことから、このまま現状維持を継続しつつ、更なるリードタイムの短縮などに取り組んでいきたい。

● 本補助金事業終了後5年間の事業化スケジュール

	経過年数*				
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
生産					
売上見込	200	500	1,000	2,000	2,500

※「経過年数」とは本事業による補助事業終了後の経過年数を示します。

(単位:万円)